



# にっこり☆しっかり!

## 後半に向けて 発進!!



うだるような暑さから一転、長雨・大雨の後の秋冷の風が心地よい季節となりました。コオロギ・鈴虫の鳴き声も、一層心を和ませてくれます。

さて、前期が10月9日で終わります。

各学級では、年度初めから1年後の子供たちの姿を思い描き、学年として身につけなくてはいけない学力を、教科担任制や少人数指導、個別指導等、様々な指導体制をとりながら、あるいは、学校や地域にある自然の材(財)を用い、着実につけるための工夫をしてくれています。また、学校や学年、学級という集団の中で、自分の役割を考え、それを果たしたり、話し合い等の活動の中で、相手を認めること・譲ること・我慢すること・主張すること等の必要性や大切さを理解したりしていくよう指導しています。

丁度1年の折り返しとなるこの時期のお子さんの様子を「のびよ ワカシ」にてお知らせします。ワカシに表されている文章や記号・数字から、この半年の様子を読み取っていただきたいと思います。更に、「頑張ってきたことは何か」「自分の課題は何か」「後半の毎日の中で、何を目標に過ごしていくか」を、5日間の期間ですが、秋季休業中にお子さんと話をする時間を設けていただけると、子供たちにとっても頑張る気持ちが一層もてると思います。よろしく願いいたします。



### 学習状況調査を分析して

3年生から5年生の子供たちを対象に行われた横須賀市の学習状況調査と、6年生を対象とした全国学力・学習状況調査の結果が、8月末までに出そろいました。今回、6年生への質問紙調査の中で、生活に関して、昨年5年生の時にに行った質問内容が同じものがいくつかあり、その変化を見てみました。

- ① 「朝食をしっかり(毎日)食べている」と回答した子が、昨年度より10%上がりました。
- ② 「平日授業以外で1時間以上勉強している」と回答した子が、昨年の倍になりました。
- ③ 「平日全く勉強しない」と回答した子はいませんでした。

これらは、お家の方の声掛けや学習環境づくりなど、応援があつての結果と思います。

ありがとうございました。今後も引き続き**よりよい生活習慣・学習習慣**が確立できるよう、応援をお願いいたします。

一方、本校の子供たちの学習に関する力で課題として見えてきているのが、「文章や表・グラフ等を読む力」「分かったこと思ったことを書き表す力」です。この力をつけていくには、授業の中で、自分の考えや思いを言葉や文章に表していく場面をより多くもつようにしていくとともに、お家に帰ってからも、お家の方の思いや考えをしっかり聞き、自分なりの考えをもち伝えること、つまり『話し合うこと』も大事な機会と考えます。家族のルールづくりをしたり、家族の楽しいイベントを考えたり、世の中の事件について思うことを出し合ったり……。是非、話し合う機会を増やしてみてください。



## 校外学習 “本物と出会い、体験的に学ぶ。”

これからの季節は、食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋と何をするにもよい気候となります。

そこで、本校では、9月、10月、11月と積極的に校外へ出て、本物と出会い様々なことを感じ、その後の学習活動に繋げていこうと考え、計画しています。

その中から今回すでに行った2つをお伝えします。

### その1 6年生 美術館見学

9月14日(月)観音崎にある横須賀美術館へ見学に行ってきました。子供たちが見学したこの期間の企画展は、絵本の挿絵でよく知られている長新太さんの『脳内地図展』でした。子供たちは、学芸員の方の美術館の目的や役割等、説明を聞いた後、鑑賞をスタートしました。身近にある絵本で見たことのある作品が多く展示されていたことや長さんの奇想天外な表現の世界の面白さにずっと引き込まれ、静かに、そして楽しそうに鑑賞を進めていきました。

更に、長さん以外の作品についても、一人一人にワークシートが渡され、その中に描かれている絵を探しだし質問に答える、という活動もしました。ワークシートに回答を書き込みながら、そばにいる友だちと、制作者の性格を想像したり、作品から感じることや技法等について静かに会話したりする様子が見られました。



### その2 3年生 三浦半島社会科見学

9月18日(金)天候が不安定な中でしたが、三浦半島の施設や土地、街の様子を見学する三浦半島半周めぐりをしました。三崎漁港→根岸交通公園→観音崎博物館の3か所が活動の中心でした。三崎漁港では、カ



チコチに冷凍されたマグロの尾の部分を電気のこぎりで切り落とし、その表面を見ながら値段が決まっていく様子を見ました。根岸交通公園では、自分の体に合った自転車の選び方、自転車の安全な乗り方について学びました。ここで、担任二人が気付いたことがありました。それは、長井の子供たちの多くが、ブレーキを使って減速・停止するのではなく、自分の足を地面に引きずるようにして減速・停止していることです。それで、靴先や靴底が擦れてしまっている子が多いことに納得できましたが、ブレーキを使えるようにならないと、大きな事故につながることも考えられます。上手に使えるようになりましょう。

最後は、観音崎博物館でした。水や草の中の生き物が多く展示されていました。海が身近な長井の子たちですが、ヒトデやウニなどに実際に触ることができて大騒ぎ。また、ミヤコタナゴのオスとメスを見分けながら、泳ぐ様子をじっくり見たいと水槽から離れられない子、鈴虫やキリギリス等の昆虫に夢中になる子と、一人一人の興味に違いが出ましたが、生き物が大好きな様子がよくわかりました。

施設と施設の間では、バスの中から街の様子を調べ、気付いたことがあると嬉しそうに、せっせとプリントに記録していました。

